

7月22日からいよいよ夏休みが始まります。夏休みの課題図書が入荷しました。
その中から低・中・高に分けて紹介します。読書感想文の本を選ぶ参考にしてください。

ていがくねんむ 低学年向け

「あなふさぎのジグモンタ」



えほん ト

(とみなが まい：作)

ジグモのジグモンタは「あなふさぎや」。洋服にあいてしまった穴をふさぐ仕事です。でもこのごろは、みんなすぐに新しいものをほしがり気落ちしてしまいます。(ひさかたチャイルド)

「そのときがくるくる」

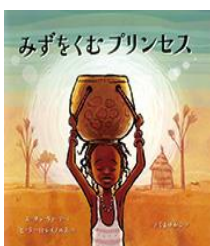
(すず きみえ：作)



913 ス

たのしみな給食の時間、きれいな食べものが入っていて、こまったことはありませんか？この物語を読むと、きれいな食べものも、食べてみたくなるかもしれません。(文研出版)

「みずをくむプリンセス」



えほん ベ

(スーザン・ヴァーデ：作)

朝早く起きて、ずっと遠くまで、きょうもわたしは、水をくみにいく。アフリカの水くみをする少女の1日をえがいた絵本です。

(さ・え・ら書房)

「どこからきたの？おべんとう」

(鈴木まもる：作)



えほん ス

みんなの愛情、いっぱいつまってるおいしいおべんとうの中身は、どこから来て、どうやって食べられるようになったのでしょうか。

(金の星社)

ちゅうがくねんむ 中学年向け

「ぼくのあいぼうはカモノハシ」



933 エ

(ミヒヤエル・エングラール：作)

ドイツに住む男の子ルースは、動物園からにげだしたカモノハシに頼まれ、オーストラリアに帰るのを手伝うことに…。ゆかいな冒険物語。(徳間書店)

「ゆりの木荘の子どもたち」

(富安陽子：作)



913 ト

77年前の「あの子」との約束をはたすために、突然、子どもになってしまったゆりの木荘のおばあさんたちの、時を越えたファンタジーです。

(講談社)

「わたしたちのカメムシずかん」

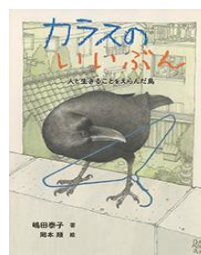


48 ス

(鈴木海花：作)

くさい虫、カメムシ。みんなで
学校のまわりを探してみたら、
35種も見つかった。宝石みたいな
カメムシもいたよ。どんな
図鑑ができるかな？ (福音館)

「カラスのいいぶん」



48 シ

(嶋田泰子：作)

カラスには、毎日の時間割があるって知っていますか？ 遊びを発明したり、子そだてをがんばったり……。知る、調べる楽しさがいっぱいの1冊です。
(童心社)

「おいで、アラスカ！」



933 ウ

(アンナ・ウォルツ：作)

反目しあっていたパーケルとスフェンの深まっていく友情の鍵を介助犬のアラスカがにぎっています。生きることへの不安や、その不安を乗り越える勇気も描いた作品です。
(フレーベル館)

「オランウータンに会いたい」



48 ク

(久世濃子：作)

いまだ謎に満ちたオランウータンの生態。食生活、子育て、不思議な習慣、驚きの進化…。さあ、未知の世界をのぞいてみましょう！
(あかね書房)

「エカシの森と子馬のポンコ」



913 カ

(加藤多一：作)

子馬のポンコは、長老の木(エカシ)と不思議なカメムシたちと森で暮らしている。季節の移ろいとやがておとなになるポンコをみずみずしく描いている物語。
(ポプラ社)

「サンドイッチクラブ」



48 ク

(長江 優子：作)

珠子は、ダブル塾通いの小学6年生。そこで、別の学校の成績優秀なヒカルと出会う。性格や生活環境も違う2人が互いを認め成長していく物語。
(岩波書店)

お知らせとお願い



*期限(一週間)をすぎた本は、早く返しましょう。

*課題図書以外にも新しい本がきています。ぜひ、図書室に来てください。

(7月8日から貸し出す予定です。)

※今年の夏休みの図書館の開館日は、7月26日から28日までです。時間は、午前9時30分から12時、午後は1時から3時の予定です。